

## Best of ASCO 2015 in Japan 見どころ

7月4日(土) 開催演題より

### 血液がん- Lymphoma and Plasma cell disorders

石塚 賢治 先生 (福岡大学病院)

今年の Best of ASCO Japan のリンパ腫・骨髄腫関連では、以下の疑問に答える選りすぐりの3演題を国立がん研究センター丸山大先生がレビューします。

1. ADCC 活性と CD20 結合能を高めた次世代薬抗 CD20 抗体薬オビヌツズマブはリツキシマブ耐性低悪性度 B 細胞リンパ腫に対して有用か？
2. CS1 を標的とする多発性骨髄腫に対する初めての抗体薬エロツズマブは再発・難治多発性骨髄腫の標準治療レナリドマイド+デキサメタゾン療法への上乗せ効果があるのか？
3. 第二世代プロテアソーム阻害薬カルフィルゾミブは、再発多発性骨髄腫に対してボルテゾミブより有用か？

何れも近い将来本邦でも使用可能になる新規薬剤です。

ぜひ Best of ASCO Japan で最新情報を入手し、お役立て下さい。

### 血液がん- Leukemia, Myelodysplasia, and Transplantation

照井 康仁 先生 (がん研有明病院)

LEUKEMIA, MYELODYSPLASIA, AND TRANSPLANTATION では、急性骨髄性白血病 (AML)、骨髄線維症 (MF)、B 細胞性腫瘍の細胞療法について計 4 題取り上げます。今まで AML では有効な分子標的薬がありませんでしたが、今回第 1/2 相試験で案先生と有効性が示された薬剤について議論されました。また、骨髄線維症の分子標的薬は JAK2 阻害薬である ruxolitinib のみでしたが、次の薬剤としての pacritinib の第 3 相試験の結果が報告されました。細胞療法ではキメラ抗原受容体発現 T 細胞療法 (CAR-T: chimeric antigen receptor-T cell) を応用した B 細胞リンパ腫と B 細胞性急性リンパ性白血病の治療結果が報告されています。ASCO が選んだ今年の注目演題について大いに議論しましょう。

### 肺がん- Cytotoxic / Molecular – target

岡本 勇 先生 (九州大学病院)

ASCO2015 における肺癌領域は大変エキサイティングなものでした。抗 PD-1 抗体(ニボルマブ)の第 III 相試験における positive データが 2 つ発表され、進行非小細胞肺癌の標準治療が再構築されることとなります。また次世代 EGFR チロシナーゼ阻害剤の演題も今後の開発の方向性を示唆するものでした。さらに本邦から扁平上皮肺癌に初回治療における第 III 相試験 (WJOG5208L) が口演発表され、新たな標準治療が生まれています。非常に早いペースでの新薬導入、標準治療の変遷を、Best of ASCO で体感して頂き、本邦における実地臨床にどのように反映させるかを皆様と議論しましょう。

## Best of ASCO 2015 in Japan 見どころ

7月5日（日）開催演題より

### 頭頸部がん

清田 尚臣 先生（神戸大学）

頭頸部がんの領域からは4演題です。

LBA3 は早期口腔がんに対する予防的頸部郭清の意義を問うランダム化比較試験（RCT）です。インドの単施設からの報告ですが、実臨床に大きな影響を与える臨床試験です。Abstract 6000 は panitumumab+RT とシスプラチン+RT の RCT であり、抗 EGFR 抗体併用放射線療法の臨床での位置づけを問う試験です。LBA6008 は PD-1 抗体である pembrolizumab の、Abstract 3011 は抗 PD-L1 抗体の MEDI4736 の報告です。頭頸部がんの領域も免疫チェックポイント阻害薬の開発が盛んですが、結果と共にこれからの展望を議論できればと思います。

### 乳がん- ER / HER2

鶴谷 純司先生（近畿大学）

HER2 陽性、ER 陽性では3つの演題を取り上げます。

一つ目の演題 LBA502 は閉経前・後のエストロゲン受容体陽性進行乳がんにおける2次治療以降での CDK4/6 阻害剤のフルベストラントとフルベストラント併用（閉経前は LH-RH アナログ併用）の意義を問う試験です（PALOMA3）。今年2月同薬は、レトゾール併用の有効性を検証した無作為比較2相試験（PALOMA1）の結果を受け FDA に承認されました。進行乳がん内分泌治療のパラダイムシフトを紹介します。次の演題 LBA507 は未治療 HER2 陽性進行再発乳がんにおける T-DM1、ならびに T-DM1 と pertuzumab 併用の有効性を問う比較第3相試験です（MARIANNE）。2次治療以降では標準治療となった T-DM1 の1次治療における有用性を検証する試験です。最後は LBA508 では pan-HER 阻害剤である neratinib の HER2 陽性乳がんの術後療法の意義を検討した第3相試験です（ExteNET）。抗 HER2 治療の dual blockade に関する試験で、その結果を吟味しましょう。

【Best of ASCO 2015 in Japan 詳細】

日時：2015年7月4日（土）・5日（日）

会場：パシフィコ横浜「メインホール」

参加申込：2015年6月23日（火）まで

URL：<http://www.jsmo.or.jp/assembly/best2015/>

